



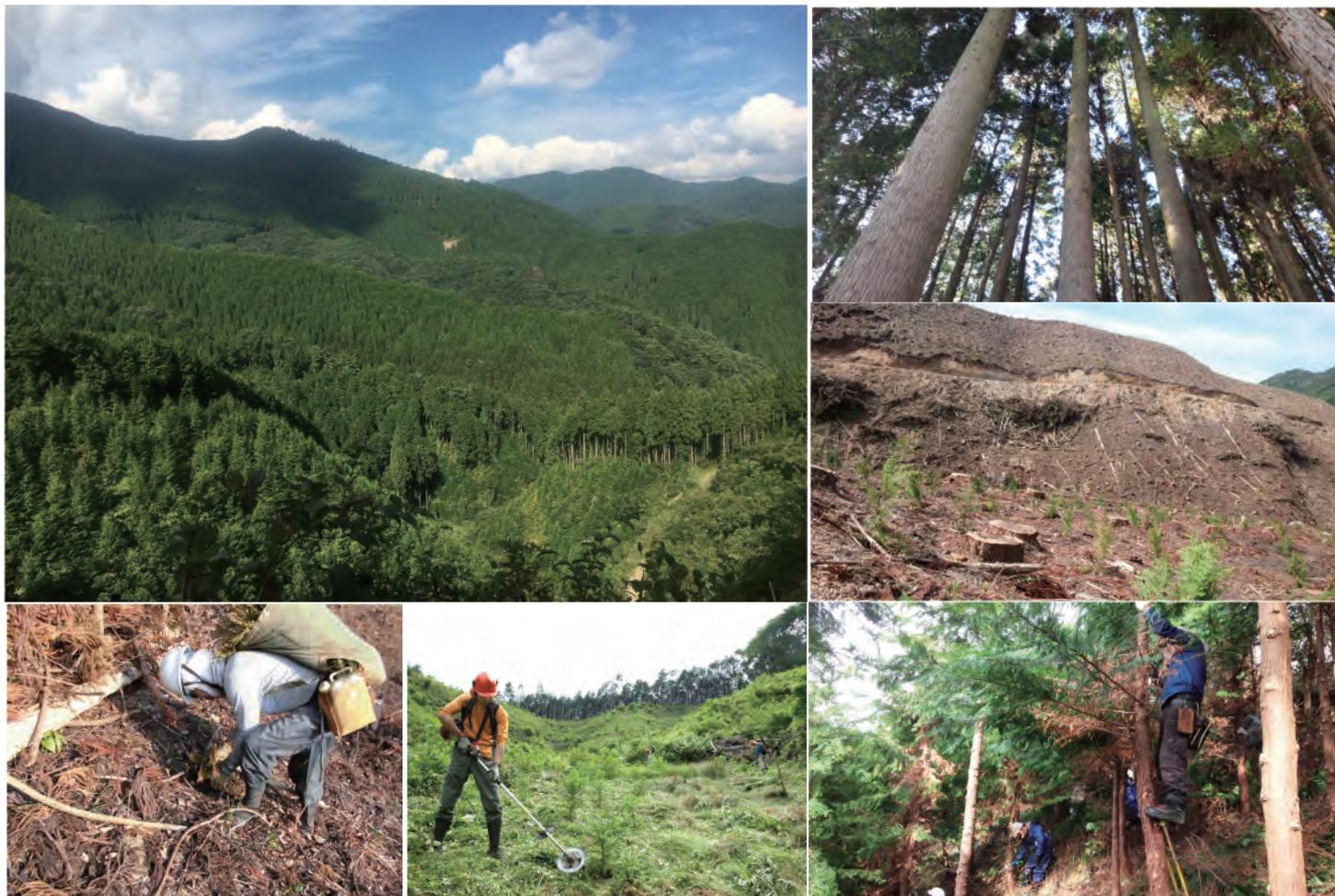
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な社会・未来・地域づくり

江与味製材株式会社は、  
SDGS 事業を  
積極的に取り組みます。



江与味製材株式会社



## 地球温暖化への取り組み

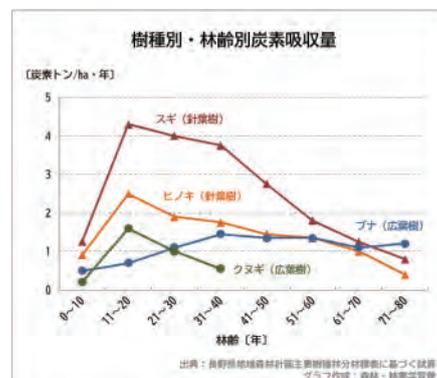


森林は、樹齢が大きくなるとCO<sub>2</sub>の吸収が少なくなります。伐期をむかえた山林を適切に伐採し、更新していくことで、森林が若返り、多くのCO<sub>2</sub>を吸収し蓄えることができます。また、CO<sub>2</sub>が蓄えられ固定化された木材をしっかりと使うことで、大気中のCO<sub>2</sub>を減らすこともできます。

管理された森林は、水を育む、山地災害を防止するなど、多面的機能を発揮します。

森林で育まれた水は、川や海に流れ込み、その恵みで多くの物を生みだします。保全されていない森林では、水が蓄積されず大災害を招くこともあります。水と山林は大きなバランスの中で循環し続けています。

山林を管理することは、山を守るだけでなく、川や海を守ることもつながっています。



「伐って」、「使って」、「植えて」、「育てる」。「持続可能な」山林管理は、気候変動や水源涵養、防災に大きく貢献しているのです。



## 持続可能な経営



日本は国土の7割が森林であり、古来より木材を上手に利用してきました。製材・乾燥・加工の技術は世界でもトップクラスであり、誇れる産業です。

その技術を継承し、新たな木材利用の創出は、大きな課題でもあります。江与味製材では、製材機や乾燥機を整備し、技術向上に努めてきました。国産材のヒノキを中心に、地元の材を有効利用し、山林から搬出されるすべての木材を製品化し、国内外に販売をしています。ヒノキ生産量が日本トップクラスの岡山県産のヒノキをブランド化し、積極的に海外へ輸出も行っています。身近に国産材を利用してもらうため、ホームセンターへの販売も行ってきました。山林の可能性を信じ、つくる責任をよろこびに変え、新たな木材利用を推進していきます。また、昨今地方中小企業に求められている創出産業として、地元に着した林業を基盤に考え、雇用創出、産業おこしをしています。

地域への役割を広げ、貢献をしていくことで、働きがいを増やし、職業のステータスを高め、国内外を問わず、平等で誰もが働ける職場環境を構築し、持続可能な職場づくりに努めます。





## 地域への貢献

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



木材は昔から家を建てたり、家具を作る材料として使われてきただけでなく、木炭などでエネルギーとしても使われてきました。現在では、技術革新によりバイオマスエネルギーとして発電にも使われ、私たちの生活に直結した資源として使われるようになりました。森林を適切に循環させれば、半永久的に利用ができる貴重な資源を、私たちは守っていきます。

4 質の高い教育を  
みんなに



次世代の子供たちに、地元産業を知ってもらい、継承してもらうため、小中学校へ、出前授業や現地職場見学などもしています。また、林業に興味のある人を対象にした1日林業体験や就業相談も行ってきました。実際に現場を見てもらい、実体験をしてもらうことで、少しでも産業の発展に寄与できればと考えています。

11 住み続けられる  
まちづくりを



江与味は昔から林業が盛んな地域でした。丁寧な山林管理はもとより、育苗や林産物の推進、若手研究会の活動、炭焼きなどの技術継承など。先祖代々守られてきた森林が多く存在をしています。その受け継がれる「継承」の心は、地元の人たちが一番大事にしている物です。江与味製材は、林業を中心に地域の活性化につながるお祭りや奉仕作業などの多くの事業に積極的に関わってきました。

今後も、人と人とのつながりを大事にし、住み続けられる地域づくりと地元の活性化に貢献していきます。